

No 9	周防大島町立東和地区小学校 (油田小学校・情島小学校・和田小学校・森野小学校・城山小学校)	
調査研究名	東和地区小学校拡大集合学習	
調査研究計画	◇研究主題 「自ら考え、伝え合い、高め合う子どもの育成」 ～小集団による学習を通して～ ◇研究の視点及び解明の手だて 東和地区5校の小学校は、小規模・極小規模校(複式学級4校、学年10名程度1校)である。個に応じたていねいな指導を行っているものの、児童による話し合い活動は活発にならず、多様な考えにふれることが少ないという課題がある。 東和地区小学校では、拡大集合学習を実施し、授業の主眼や学習内容に応じた適正規模の集団で学習し、多様な考えを伝え合い、高め合うことによって、表現力・思考力・判断力を育むことをねらいとしている。 また、1学年を複数の教師による指導体制で行うことにより、個の思いや考えに寄り添った支援をすることが可能になり、学習への意欲化を図ることができるのではないかと考えた。 課題解明の手だては、以下の3点とする。 ①集団で多様な意見、具体的な意見を出して深める。 ②教材・指導体制・学習過程を工夫する。 ③互いを尊重し合う意識を高める。 ◇研究計画 ○4～5月 研究体制づくり、指導役割分担等(東和地区小学校全体会、高学年部会) ○6月15～17日 実践研究、学校公開、小中連携(第1回高学年拡大集合学習) ○7～10月 1回集合学習反省・課題、2回集合学習に向けて(高学年部会、研究視察) ○11月15～24日 授業・学校公開(2回高学年拡大集合学習、へき地・複式・小規模校教育研究授業) ○12～2月 今年度の反省・課題、次年度の計画(東和地区集合学習研究推進協議会)	
授業研究・研修等の公開など研究成果の還元方法		
○柳井地区へき地・複式・小規模校教育振興会授業研究会(11月22日)において公開授業・研究発表を行い、柳井地区の教職員に研究の成果を発表する。 ○1回高学年拡大集合学習(6月・3日間)、2回高学年拡大集合学習(11月・7日間)を学校公開・校種間交流の場とし、保護者への理解を深めるとともに保・小・中の連携を図る。		